

本木勝利 議員



畜産公害と町の対応について

町長 提出される改善計画書を強制力あるものにする

町長 施設機能からみて施設システムに底じた徹底した管理を行えば、悪臭、放流水の問題は、改善がはかれるものと考えます。これまで、指導を行ってききましたが、9月末まで改善計画書を県と町に提出させ、より実効性を確保し強制力のあるものにしていきます。

補助金の交付は、法令的に問題ないか

本木 補助金の適正化に関する法律、条例、その他の環境関連の法令に照らして、タナカ種畜牧場への補助金をどのようにとらえているか伺います。

町長 補助金については、生産振興総合対策事業実施要綱に基づき、交付したものであり、農業の自然循環機能の維持増進、有機性資源の適正処理などに補助を行いました。



タナカ種畜牧場

地元の申入れに対し町の回答は

本木 8月24日、地元より申入れがあったと聞いていますが、内容とどのような回答であったか伺います。

町長 8月24日、地元の代表者より、質問状が提出されました。内容は、平成13年タナカ種畜牧場豚舎移転に関する確約書並びに環境保全協定書の完全履行を求めたものです。

回答は検討中ですが、最新の機能を持つ施設であると認識しており、現状は、事業者の管理が十分果たされていないと考えています。

悪臭発生の原因は

本木 豚舎の悪臭などの発生原因は、どこにあると見ているのか伺います。

町長 大きく分けて豚舎及び浄化槽、堆肥舎より発生

する臭気とみえています。

豚舎では、糞尿を一時ためておくピットから浄化槽へ移動させる際発生する臭いを、自動排気することが、一番の原因とみえています。また、堆肥舎からは、堆肥化を行う際に発生していま

原因を除去する対策

本木 豚舎及び浄化槽、堆肥舎から発生している悪臭を除去する対策を、考えていますか。

整合性のとれた事業とは

町長 放課後子どもプラン実施計画では、「放課後子ども教室」を、今実施されている放課後児童クラブ、学童保育と並行して行うとあります。2つの事業の整合性をとり、一体的な事業を実施するとはどういうことを指しますか。

教育振興主幹 両事業の一体的部分は、どちらも学区を中心とした取り組みを指すこととなります。今後どのような形で進んでいくかを検討していきます。

地域の方から聞く

町長 小中学生を対象に、命の尊さや平和への思いを聞いて学ぶ取り組みを実施してはいいかがですか。

町長 戦争体験者からの話を聞く機会を設けるなどして、従来の学習のなかに工夫していきたいと思っております。非常に大事なことから、学校以外の学習の場として、町や教育委員会が実施している講演会や研修会、さらに地域やPTA活動などで実施できないか真剣に検討します。

関千鶴子 議員



地域の方から、命の尊さや平和への思いを聞く機会を

町長 非常に大事なことなので、真剣に検討

保育に欠ける児童の増

町長 本町は共働き家庭が多く、核家族化、就労形態もさまざまで、保育に欠ける小学生低学年児童が増えているというのですが、その傾向は続きますか。

交通手段が課題

町長 共働きによって所得を得て生活をする状況があり、今後も保育に欠ける児童が同じように増えると思えます。

課題と、その対応を伺います。

健康福祉課長 垂桑小学校児童の登録者は8名で、常時利用者は2名です。東根小学校児童の登録数は3名で、全員が常時利用者です。

放課後子ども教室は好評

町長 各学校からの送迎は業務員が行っています。交通手段は大きな課題で、町が検討している総合交通体系のなかで対応を考えていきます。



じょうずにできるかな「放課後子ども教室」 鷹山小学校